

面接・口頭試問・活動報告書について(令和7年度入学生用)

(募集要項 P.3)【総合型選抜⇒面接＋口頭試問＋活動報告書】【学校推薦型選抜⇒面接】

【自己推薦型選抜、一般選抜、社会人選抜⇒小論文(600字以内 60分)＋面接】

I. **面接の評価ポイント**：本学での目的意識や意欲、及び思考力・判断力・表現力を面接で評価する。

- (1) 志望の意欲：本学で学びたいことや将来の進路希望について具体的な考えを有している。
- (2) 態度・マナー：高等教育機関で学ぶ者として、ふさわしい態度・マナーを備えている。
- (3) 社会性：社会において他者と広く協働するために、必要な態度やリーダーシップ能力を持っている。
- (4) 思考力：問題を把握し、それについての解決策を提案することができる。
- (5) 判断力：解決策の妥当性を吟味し、結果を反省し次の行動へと繋げることができる。
- (6) 表現力：伝えたい内容を分かりやすい言葉や文章で表現できる。自分の主張を、根拠となる情報を示しつつ、筋道を立てて展開することができる。
- (7) コミュニケーション力：面接時の質問の意図を理解して、適切に答えることができる。

II. **面接試験** (全ての試験に共通)

1. 質問内容と答えるコツ

(1) よくきかれる質問

- ①本学を志望する理由は何ですか。
- ②卒業したらどんな仕事に就きたいですか。
- ③入学後にどんな勉強をしたいですか。→「科目一覧」をオープンキャンパスで配布中。
⇒本学 HP (右上「MENU」⇒「大学概要」⇒「情報の公開」⇒「シラバス」) に科目別講義内容及び授業計画を詳しく掲載。
- ④課外活動を通して学んだことは何ですか。
- ⑤高校時代に熱心に取り組んだことは何ですか。
- ⑥自己PRしてください。

(2) 答える時に大切なこと

- ①本当のことを話そう。→実際に自分で経験したことを話せば、聞いた人がなるほどと思う。自分の経験に基づいて自分で考えたことや工夫したことを、自信を持って話そう。
- ②笑顔で試験官の顔を見て話そう。→好印象を与える。
- ③話題が広がるような応答をしよう。→試験官がそこから更に聞きたくなるような話をしよう。
- ④我慢強いなど、自分の良さを具体的に(体験を通して)相手に分かるように伝えよう。
- ⑤部活動、生徒会活動、ボランティア活動などそこから何かを得た経験を話そう。
- ⑥何かを話す前に、頭の中で整理して、相手に分かりやすく話そう。

2. 面接の準備

- (1) 模擬面接をしてもらおう。
- (2) その分野について興味のあることを調べたり、本を読んだりしよう。
- (3) できればその分野に係る経験を積もう。ボランティア活動やお手伝いなどをしよう。

Ⅲ. 口頭試問(総合型選抜のみ：募集要項 P.4 参照)

1. 下記のどちらか一つを選択する。

- (1) なりたい職業に関わることについて
- (2) 編入希望の大学に関わることについて

2. 口頭試問の内容

(1) なりたい職業に関わることの場合

①職業に関わり自分で考えている目標

「あなたの目指している職業は何ですか。その職業に関わり自分で考えている目標は何ですか。」

②目標を実現するための課題

「目標を実現するためにどのようなことが課題であると思いますか。」

③その課題を達成するために必要なこと

「その課題を達成するために、どのようなことが必要であると思いますか。」

(2) 編入希望の大学に関わることの場合

①編入したい大学の学部

「あなたの編入したい大学の学部は何ですか。」

②編入試験に合格するための課題

「その学部の編入試験に合格するために、どのようなことが課題であると思いますか。」

③課題を解決するために必要なこと

「その課題を解決するために、どのようなことが必要であると思いますか。」

※総合型選抜では、口頭試問をした後に続いて面接を行う。合計 15 分程度。

Ⅳ. 活動報告書 (総合型選抜のみ：募集要項、記載例 様式-7 参照)

1. A4、1枚
2. 総合型選抜は必ず提出する (他の選抜方法では求めない)

3. 書くべき内容

- (1) 高等学校で取り組んだ活動内容 (部活動、生徒会・委員会活動、ボランティア活動等)
- (2) 課題研究や目的を持った活動 (活動内容から主な取組みと成果を記載)
- (3) 高校生活で何を学び、将来に向けて学んだことをどのように活用しますか
- (4) 資格・検定・試験・実績等

※作成された活動報告書は面接において活用されます。